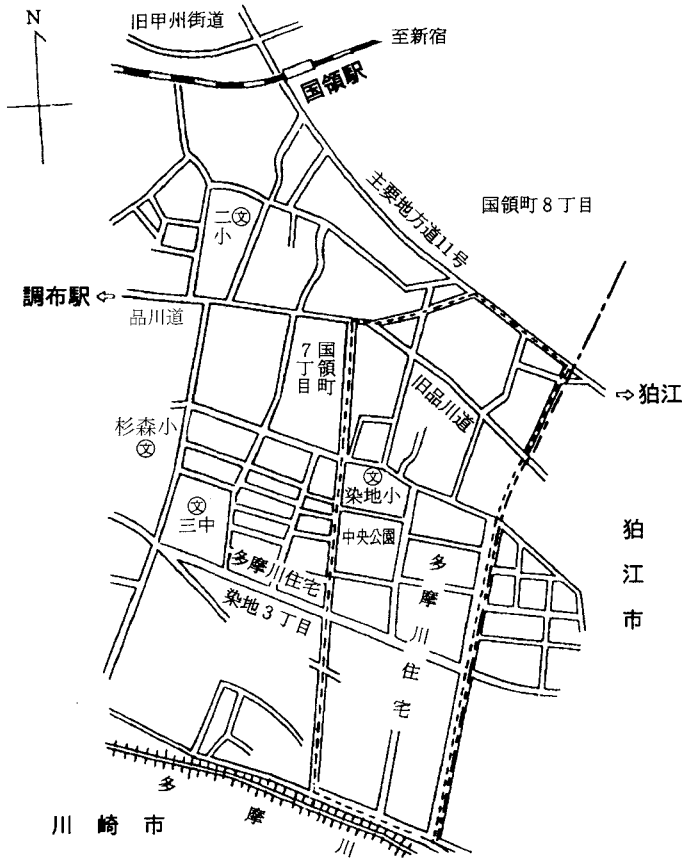
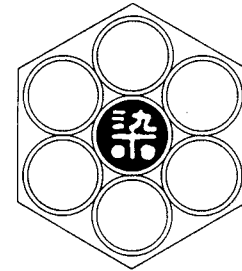


# 学区区域地図

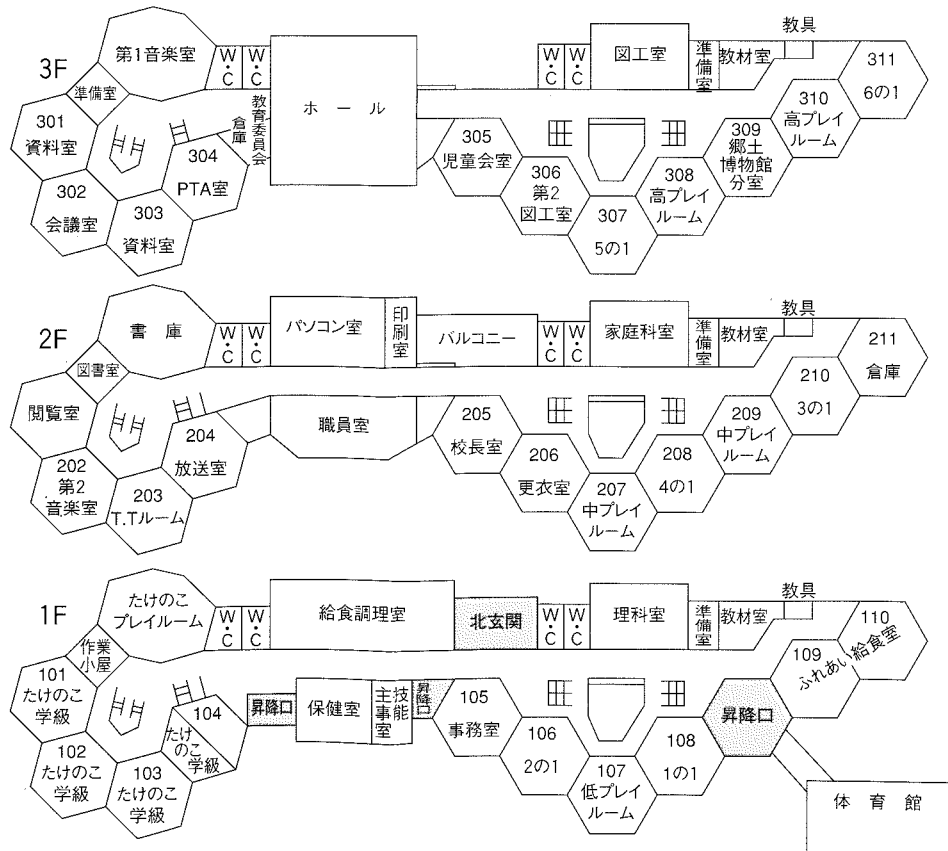


平成14年度

# 学校要覧



# 校舎平面図



校庭側から見た配置図



## 調布市立染地小学校

校長 佐藤 清隆

東京都調布市染地3丁目1番地81

電話 0424-85-1285~6

FAX 0424-99-4181

0424-85-1360 (たけのこ直通)

# 沿革

昭和41年 8月1日	東京都調布市立染地小学校設立認可 初代校長 山岸諦順
9月1日	東京都住宅供給公社多摩川住宅第1次入居児童97名入校式 7学級編成 職員15名発令
9月7日	通学区域変更のため第二小学校より児童59名転入学
10月16日	開校記念日設定
12月7日	開校記念式挙行
昭和42年 3月25日	第一回卒業生12名
6月15日	調布市立染地小学校PTA設立 会長 佐野 裕
昭和43年 2月7日	調布市教育委員会研究奨励校の指定校として研究発表会を挙行
3月31日	第1次増築完成（普12・特3）
昭和44年 4月1日	第二代校長 郷津 康彦着任
9月13日	プール建設起工式
昭和45年 3月31日	第2次増築完成（普9・体育倉庫）
7月10日	プール完成・プール開き挙行
12月25日	小ホール完成 300㎡図書室と兼用となる
昭和46年 1月19日	校歌制定さる 作詩 サトウハチロー氏 作曲 渡辺 浦人氏 校歌発表会を小ホールで挙行
3月25日	校庭拡張工事完成（1,073.87㎡）
昭和47年 4月1日	杉森小学校 分離設立
昭和48年 3月15日	体育館工事完了
4月1日	第三代校長 榊原 金吾着任
昭和49年 6月	校庭排水溝敷設、散水装置工事
昭和51年 4月1日	第四代校長 柳 勇着任
11月20日	開校十周年式典・祝賀会を挙行
昭和55年 4月1日	第五代校長 石黒 光司着任
昭和57年 4月1日	たけのこ学級（心障）開設 学校総合開放始まる
昭和59年 8月31日	給食室改良工事完成
昭和60年 8月31日	音楽室改装完了、全室ガス暖房装置
8月31日	校舎外装工事完了、屋外貯水槽設置
10月29日	調布市研究推進校として研究発表
昭和61年 4月1日	第六代校長 坂本 俊着任
10月9日	開校二十周年記念式典挙行
昭和62年 7月31日	屋上改善工事完了、体育館内外装完了
11月20日	校舎外周排水溝改良工事完了
平成元年 4月1日	第七代校長 丸茂 一着任
平成3年 3月31日	プール・体育倉庫・飼育小屋改築完了
9月19日	パソコン室工事完成
平成4年 4月1日	第八代校長 中村 誠士着任
9月30日	保健室・給食調理室・技能主事室・北玄関改装完了
平成5年 9月30日	放送室改修工事完了
平成6年 9月30日	ホール改修工事完了
平成8年 4月1日	第九代校長 小島 康着任
10月31日	給食室、ふれあい給食室、図書室改修工事完了
11月16日	開校三十周年記念式典挙行
11月26日	ふれあい給食開始
平成12年 4月1日	第十代校長 佐藤 清隆着任

# 平成14年度 教育目標

- ① 学校の教育目標  
人権尊重の精神に基づき、自主性と創造性に富み、広く国際社会や地域社会の中で信頼と尊敬の得られる、人間性豊かな、しかも健康で主体的に学ぶことのできる児童の育成を期して次の目標を設定する。
- 1 思いやりのある子ども      3 進んで働く子ども  
② よく考える子ども      4 たくましい子ども      ②は本年度の重点目標
- ② 学校の教育目標を達成するための基本方針  
ア 基礎的・基本的な学力の定着を図るために、指導方法の改善や学習集団の育成及び週時程表を工夫する等、個に応じた教育を推進する。  
イ 人権尊重の教育を重視し、偏見や差別をなくし思いやりの心を培い、国際社会の一員としての自覚をもち、進んで社会に貢献しようとする児童の育成を図る。  
ウ 一人一人の豊かな個性や能力及び創造力を認め伸ばすことに努め、最後まで粘り強くやりぬくことを通し、生涯にわたってたくましく学び生きる児童の育成を図る。  
エ あらゆる機会をとらえ、自ら心や体を鍛えようとする意欲を高め、健やかな心身をもつ児童の育成を図る。  
オ 教育環境の整備や充実を図る中で、豊かな心情を育て、心身共に健康で人間性豊かな児童を育てる。  
カ 全校たてわりのハチの子活動をさらに充実させ、変化と希望のある学校生活を創造する。  
キ 各教科・特別活動・道徳・総合的な学習の時間及び評価のあり方等校内研究体制をさらに充実させ、研修と実践を積み重ねることによって、新学習指導要領の完全実施を図る。  
ク 学校外の人材を積極的に授業に活用したり、学校運営連絡協議会等により開かれた学校づくりを一層推進する。

## 指導の重点

- ① 各教科・道徳・特別活動等  
ア 各教科  
○ 自ら学ぶ意欲をもち、よく考える児童の育成を図るとともに、小規模校の特色を生かし、一人一人の児童の個性や能力及び創造力を伸ばす指導の徹底を図る。  
○ 問題解決的な学習を重視するとともに基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ、思考力・創造力・表現力を育成する指導に努める。  
○ 具体的・体験的な学習活動やコンピュータや視聴覚機器を積極的に活用し、学習意欲や理解の向上を図るとともに、情報の選択活用能力を養う。
- イ 道徳  
○ 人権尊重の精神を基礎に道徳的判断力を育て、その実践力を育成する。  
○ 道徳教育全体計画及び年間指導計画に基づき、指導法の工夫、資料の整備活用、環境の整備を通して全教育活動における道徳教育を推進する。
- ウ 特別活動  
○ 望ましい集団活動を通して、集団の一員としての自覚を高め、自己を正しく生かす児童を育成する。  
○ 児童の創意を生かした活動を展開し、協力して学校生活を豊かに築いていこうとする自主的・実践的な態度を育てる。  
○ 学級活動を計画的・継続的に進める。特に性教育は人権尊重の精神に基づき、発達段階に応じた指導の充実を図るとともに、薬物乱用防止に関する指導の推進を図る。  
○ 異年齢集団、ハチの子班の特色を生かし、思いやりの心をもつ児童を育成する。
- エ 総合的な学習の時間  
○ 人、自然、社会に興味・関心をもち、自分にとって価値のある課題を見いだし、自ら学び考え、主体的に判断し追求させる等探求する力を育てる。その実践を通して、自分の生き方や考え方を日常の生活に生かす力を身につけさせる。  
○ 互いを認め、生命や人権を尊重する気持ちをもって適切に行動できるようにさせるとともに、その実践を通して自分を認め、共生・自立への基礎を養う。
- ② 特色ある教育活動  
○ ボランティア活動や総合的な学習の時間のハチの子タイムの活動を通して、児童一人一人の個性や能力及び創造力を伸ばす。  
○ ミニハチ活動を毎月実施し、異年齢集団のよさを生かした活動を通して、児童相互や児童と教師の心の交流を深める。  
○ 「子どもまつり」「地区子ども会」「地域運動会」などを通して、家庭・地域社会との連携を深め、学校・地域社会への所属感を深める。  
○ 心身障害学級の児童（たけのこ学級）との交流やふれあい給食に参加する高齢者との交流を通して、相手を思いやる心と、互いに学び合う態度を育てる。
- ③ 生活指導・進路指導  
ア 生活指導  
豊かな心をもち、たくましく生きる児童を育成するために、個性を生かし、社会性を育て、社会規範を守る態度を育て、自己実現を図る能力と態度を身に付けさせる。  
○ 基本的な生活習慣を身に付け、実践する力を育成する。  
○ 家庭・地域社会との連携を密にし、人と人とのかかわりを重視した指導に努め、余暇時間の有効活用を促し、主体的に生活しようとする態度を育てる。

## 校歌

作詩 サトウハ  
作曲 渡辺

一、毎朝ながめる 蜂の巣校舎  
元気に手をくみ 明るく学ぶ  
輝くバツヂに はずむは心  
あしたをめぐして めざして  
染地 染地 染地  
母校の名まえを たのしいわ

二、やさしいそよ風 多摩川堤  
仲よくならんで みんなでう  
いっでもあふれる 希望の光  
正しくその日を その日をお  
染地 染地 染地  
母校の名まえを たのしいわ

三、ひろがる大空 けやきの梢  
からだをきたえて すくすく  
礼儀を忘れず 教えを守り  
まことを求めて 求めてはげ  
染地 染地 染地  
母校の名まえを たのしいわ

胸にとなえて たのしいわ

# 在籍児童数 (平成14年4月6日現在)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	心障	計	
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8	
児童数	男	15	16	16	19	5	11	8	90
	女	17	12	18	14	10	16	7	94
	計	32	28	34	33	15	27	15	184
平均	32	28	34	33	15	27	7.5	23	

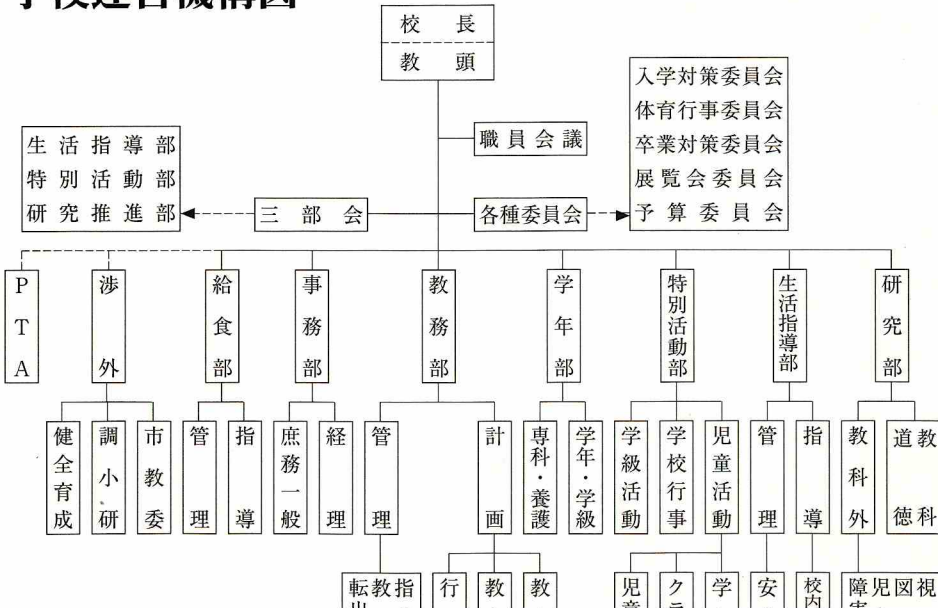
# 施設

普通教室	10	(内心障学級4)
特別教室	15	理科室1、音楽室2、図工室2、家庭科室1、図書室1、児童会室1、視聴覚室1(兼会議室)、特殊学級プレイルーム1、普通学級プレイルーム5
管理室	18	校長室、職員室、保健室、音楽・図工・家庭・理科各準備室、資料室、教材室、図書々庫、放送室、更衣室、技能主事室、印刷室、事務室、特殊学級職員室
給食室	1	
小ホール	1	300㎡
体育館	1	720.2㎡
プール	1	25×12
運動場		1073.87㎡
染地山		

# 教職員

番号	職名	氏名	担当	研究教科	校務分掌	番号	職名	氏名	担当	研究教科	校務分掌
1	校長	佐藤清隆	経営	経営		18	講師	たけのこ			
2	教頭	根本哲郎	経営	経営		19	講師	たけのこ			
3	教諭		1-1	生活	生活指導	20	栄養士	給食			
4	〃		2-1	体育	研究推進	21	技能主事	用務			
5	〃		3-1	理科	特別活動	22	調理員	給食			
6	〃		4-1	国語	研究主任	23	調理員	給食			
7	〃		5-1	社会	生活指導主任	24	調理員	給食			
8	〃		6-1	道徳	特活主任	25	事務	事務			
9	〃		たけのこ1	理科	生活指導	26	介助員	たけのこ			
10	〃		たけのこ2	図書	研究推進	27	介助員	たけのこ			
11	〃		たけのこ2	体育	特別活動	28	嘱託	教育研究室			
12	〃		T.T	算数	教務主任	29	校医内科				
13	〃		音楽	音楽	研究推進	30	校医耳鼻科				
14	〃		図工	図工	特別活動	31	校医歯科				
15	養護教諭		保健	体育	生活指導	32	校医眼科				
16	事務		事務	事務		33	薬剤師				
17	嘱託		家庭・習字	家庭		34	精神科				

# 学校運営機構図



# 日課時程表

・15分を1m(モジュール)として、45分だけでなく、15分、30分、60分、90分の時間で、授業を組みます。  
 ・月曜の朝は、朝会と美化デー・木曜の朝に集会和ミニハチを行います。  
 ・火曜・水曜・金曜の朝15分に、授業をします。

☆123年		☆456年	
☆123年の5校時は、45分です。 1年は火(2学期から) 2年は火木 3年は月火木金 が、年間5校時までになります。 ☆5(6)校時に、生活・総合などの授業、補習、いろいろな活動等を行うことがあります。	☆456年の5校時は、60分です。 (金曜日は45分) ☆金曜日は、月1回委員会(56年45分) 残りがクラブ(456年60分) ☆火曜日の6校時は、学年タイムとして、総合などの授業、補習、いろいろな活動等を行うことがあります。	登校 8:15~8:25	登校
朝会	朝会	集会	集会
8:30	8:30		
中休み 10:20~10:40	中休み		
給食 12:15~13:00	給食		
昼休み 13:00~13:20	昼休み		
清掃 13:20~13:40	清掃		
14:25	14:25		
14:40	14:40		
15:25	15:25		
15:35	15:35		
最終下校15:50	(水曜日は13:30)		

# 年間行事予定表

4月	8 始業式・入学式 10 定期健康診断始 15 保護者会始 17 保護者会終 22 1年生を迎える会 23 校外学習始 25 校外学習終 26 避難訓練
5月	14 避難訓練 15 授業参観・地区子ども会
6月	6 避難訓練 10 家庭訪問始・水泳指導始 11 音楽鑑賞教室・6年 20 家庭訪問終 26 生活指導全体会 27~28 たけのこ移動教室
7月	8 保護者会始 9 保護者会終 10 避難訓練 19 終業式 22 夏季水泳指導始
8月	1~3 岩井臨海学園・6年 28 夏季水泳指導終
9月	2 始業式・防災訓練 10 授業参観・保護者会始 12~13 移動教室・5年 13 水泳指導終 19 授業参観・保護者会終
10月	2 ハチの子全校集会 3 個人面談始 4 避難訓練 9 芸術鑑賞教室 11 心障連合運動会 16 開校記念日 18 個人面談終 30 子ども祭り・生活指導全体会
11月	6 避難訓練 22~23 展覧会
12月	2 避難訓練 5 連合音楽会・保護者会始 9 保護者会終 11 心障合同学習発表会 25 終業式
1月	8 始業式 14~21 連合図工展始 20 避難訓練 21 授業参観・道徳授業地区公開講座
2月	6 避難訓練・生活指導全体会 18 新1年保護者説明会
3月	4 保護者会始 6 保護者会終・6年生を送る会 10 卒業を祝う会 11 避難訓練 24 修了式 25 卒業式

# PTA役員

役職名	氏名
会長	
副会長	
書記	
会計	
監査	
学	
顧問	
副会長	
書記	
会計	

# 地域の特徴

- 団地から通学する児童数が、全校児童数の約60%をしめている。
- 団地の児童数は、完成以来30年以上過ぎ、減少する傾向にある。
- 学校総合開放をはじめ、地域諸団体の活動が活発である。

# PTA

《総 合》「明るく楽しくみんなで作るPTA」

# たけのこ学級の概要

## ① 沿革

- 昭和56年9月 ●第一小学校心障学級の過大解消のため、染地小学校に新設の依頼を受ける。
- 昭和57年2月12日 心障学級開設認可  
 2月19日 心障学級プレイルーム改装工事着工  
 3月20日 心障学級担任2名内定 開設準備  
 4月2日 第一回父母会“たけのこ学級”と命名  
 4月6日 1学級2担任 始業式・入学式 11名の児童入級  
 4月13日 介助員1名措置（4月末まで）講師1名・担任1名配置
- 昭和58年4月1日 2学級認可（児童数14名）講師1名認可  
 昭和59年4月1日 1学級認可（児童数12名）担任3名  
 昭和60年4月1日 1学級認可（児童数12名）担任3名  
 昭和61年4月1日 1学級認可（児童数10名）担任2名  
 昭和62年4月1日 1学級認可（児童数8名）担任2名  
 昭和63年4月1日 1学級認可（児童数8名）担任2名  
 平成元年4月1日 1学級認可（児童数5名）担任2名  
 平成2年4月1日 1学級認可（児童数5名）担任2名  
 平成3年4月1日 1学級認可（児童数3名）担任2名  
 平成4年4月1日 1学級認可（児童数4名）担任2名  
 平成5年4月1日 1学級認可（児童数3名）担任2名  
 平成6年4月1日 1学級認可（児童数6名）担任2名 講師1名 介助員1名  
 平成7年4月1日 2学級認可（児童数9名）担任3名 講師1名 介助員2名  
 平成8年4月1日 2学級認可（児童数9名）担任3名 講師1名 介助員2名  
 平成9年4月1日 2学級認可（児童数11名）担任3名 講師1名 介助員2名  
 平成10年4月1日 2学級認可（児童数15名）担任3名 講師1名 介助員2名  
 平成11年4月1日 3学級認可（児童数17名）担任4名 講師1名 介助員3名  
 平成12年4月1日 3学級認可（児童数19名）担任4名 講師1名 介助員3名  
 平成13年4月1日 3学級認可（児童数19名）担任4名 講師1名 介助員3名  
 平成14年4月1日 2学級認可（児童数15名）担任3名 講師2名 介助員2名

## ② 学 童（14、4、1現在）

### ア. 学年別・児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
男	0	2	1	1	3	1	8
女	1	3	0	1	1	1	7
計	1	5	1	2	4	2	15

イ. 障害の状況 知的発達障害 15名

## ③ 教育目標

### (1) 学校の教育目標

1. 思いやりのある子ども 3. 進んで働く子ども  
 ②. よく考える子ども 4. たくましい子ども ②は本年度の重点目標

### (2) 特殊学級の教育目標

1. まわりの人と楽しくかかわることのできる子ども  
 2. 自分で考えようとする子ども  
 3. 自分のことは自分でする子ども  
 4. 健康な子ども

### (3) 学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 各教科の指導を通し、基礎的な学力をつける。自立活動及び各教科、特別活動、総合的な学習の時間、領域・教科を合わせた指導を組み入れて指導計画を立て、社会性の伸長を図る。  
 イ. 道徳については特設せず、生活全般で指導する。また、各教科や特別活動などの全教育活動の中で指導する。  
 ウ. 自立活動については、特設の時間だけではなく、生活全般や各教科、特別活動の中でも行う。  
 エ. 教師や友達との共感・信頼関係を育て、児童が安心して生活し、学習できる学級づくりの努める。  
 オ. 児童の発達段階や障害の実態に即して指導内容、指導方法、グループ編成を工夫し、個別指導計画と集団の指導計画を関連つけて立てる。  
 カ. 体育を重視し、基礎体力と運動能力の向上を図るとともに、感覚・運動の統合機能を高めて障害の状態を改善、克服することを目指す。  
 キ. 通常の学級との遊び、給食等生活場面での自然な交流を大切に、触れ合うことを通して、障害児への理解を促す。  
 ク. 完全学校週5日制に関連して、休日の過ごし方について保護者会等で話題にし、一層保護者との連携を深める。

## ④ 指導の重点

### (1) 各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な学習の時間等

#### ア. 各教科

- 一人一人の能力に応じた基礎学力の充実を図り、日常生活に使える力を身に付けさせる。  
 ○言語能力や意思伝達能力の向上を図り、豊かな人間関係を育てる。

#### イ. 道徳

- 全教育活動を通じて、協力して生活する態度と感謝の気持ちをもつ心豊かな人間の育成を目指し、思いやりに基づいた人間関係を育てる。気持ち良く社会生活を営むために、基本的なマナーを身に付けさせ、社会的ルールを守る意識を育てる。

#### ウ. 特別活動

- 高学年は自分の入りたいクラブ活動に参加し、まわりの人の援助のもとに、一緒に行動しようとする態度を育てる。委員会活動では、自分にできる活動を責任をもってやろうとする態度を育てる。

- 障害に基づく種々の困難を改善・克服するために、手指の操作性や目と手の協応性を高める。そのために、パソコン、刺繍などを行う。

- 日常生活の基本動作や姿勢を改善し、技能を高める指導を個別的あるいは集団的に行う。

#### オ. 総合的な学習の時間

- 校外に興味・関心を持ち、自ら調べたり、体験を通して確かめたりする中で、身近な環境や社会とかかわろうとする。

- 劇遊びを通して、自己表現をするとともに、友達と相談し、協力して楽しく活動をする。

## (2) 特色ある教育活動

- 全校たてわりのハチの子の活動、子どもまつり、地区子ども会等に参加し、通常の学級の児童と活動を共にすることで、経験を広げ、社会性を養い、いろいろな人とかわる力を育てる。

- 宿泊を伴う学習を身近自立と集団活動を発展させた学習の場として位置づけ、あわせて環境適応能力の向上を図る。

## (3) 生活指導

- 個に応じた手立てを通して、基本的な生活習慣を身に付けさせる。

- 人に喜ばれることや、人の役に立つことができるようにする。学校や学級のきまりを守り、危険の有無や、やっても良いことといけないうちの区別ができる力を育てる。社会一般に認められる行動様式を身に付けさせる。

- あいさつ、返事、要求、承諾、拒否が場面に応じてできるようにする。

- 日直、係、当番の活動を通して、自分の仕事への自覚と責任感を育てる。

- 児童の実態に応じた性教育を個別にあるいは授業として行い、自己の存在を肯定的にとらえられるようにする。低学年においては、体を清潔にすることの大切さ、男女の違いに気づかせる。高学年においては、男女の認識に基づいたマナーを身に付けさせるとともに、大人への体の変化や命の尊さについて学ばせる。

- 低学年のうちから自由な時間に楽しめることを少しずつ増やしていく。

## (4) 進路指導

- 保護者との連携のもとに、将来の生活を見通して現在の指導のねらいと方法を明確にする。

- 就学措置の変更及び進学に当たっては、児童の障害の状態をふまえ、保護者との相談を継続し、関係機関とも連携を取り合いながら指導を進める。

## ⑤ その他の配慮事項

- (1) 带状に時程を組むことで、一日の生活・学習の流れを見通し、主体的に活動する力を育てる。  
 (2) 自閉傾向の児童と注意欠陥・多動性障害傾向の児童を合わせると学級の半数になるが、学級集団としてのまとまりと仲間意識を育てるために、高学年を中心としたつながりをつくっていく。  
 (3) 児童の障害の多様化・重度化に対応し、グループの作り方を工夫して指導にあたる。落ち着いて生活や学習ができるように、教育環境を可能な限り整理する。  
 (4) 国語・算数の授業は発達段階や障害の実態に応じたグループ編成で行う。  
 (5) 教師間での学習・研究活動を進め、児童の適切な実態把握に基づき指導にあたることで、指導効果を上げる。  
 (6) 保護者会、個人面談、連絡帳、学級通信等を通して、保護者との連携を図る。その際、一人一人の児童の障害や特性、保護者の考え方を十分考慮して行う。  
 (7) 校内の通常の学級や他の心身障害学級、養護学校及び校内のふれあい給食の高齢者との交流を通し、好ましい人間関係をはぐくみ広げる。その際、できる限り一人一人の児童に応じた交流形態と内容を考えていく。  
 (8) 言語指導、感覚統合訓練、心理療育相談等専門家からの助言を日々の指導に取り入れ、指導効果の向上を図る。

## ⑥ 授業内容と時数配当

領域	内容・学年	内 容	学年別授業時数					
			1	2	3	4	5	6
各教科	生活(知)	自然への関心、公共施設の利用、栽培	34	35	35	35	35	35
	国語	発声、線描、模写、文字、音読、読み取り、作文、紙芝居、毛筆	102	105	105	105	105	105
	社会				0	0	0	0
	算数	類別、弁別、色形、大小、位置、数字、対応、分解合成、計算、時計、文章題、お金、数唱	102	105	105	105	105	105
	理科				0	0	0	0
	生活(小)		0	0				
	音楽	手遊び歌、歌唱、リズム、楽器、音あそび、鑑賞、合奏、和太鼓	34	70	70	70	70	70
	図画工作	いろいろな素材を使って遊んだり作ったりする。描画、工作、粘土、陶芸、版画	68	70	70	70	70	70
	家庭						0	0
特別活動	体 育	歩、走、跳、リトミック、ボール、マット、とび箱、なわとび、固定遊具、感覚統合、水泳	170	175	175	175	175	175
	特 別 活 動		0	0	0	0	0	0
	自 立 活 動	歩行学習、パソコン、刺繍、ハチの子の活動	34	35	35	70	70	70
日常生活の指導	朝の会、着脱、排泄、清潔、日課表、動植物の世話、係・当番活動	170	175	175	175	175	175	
遊びの指導	集団遊び、伝承遊び、体育的遊び、大人との共感的遊び、高学年リーダーによる遊び	34	35	35	35	35	35	